

## 愛治俳句会

餅花のゆらめきかすか無人駅  
 冬空を真二つにせり飛行雲  
 東雲の光枯野に当たりたる  
 冬の川落葉の骨が透けてゐる  
 寒波来し過疎の峡まだ深眠  
 番犬に声かけ通る夜寒かな  
 寄る人が風を持ち込む焚き火の輪  
 毛糸編み続け話に加はらず  
 楓 一つ上がれり峡の空  
 柚の家軒の下まで草紅葉  
 どんと焼炎一気に立ち上がる  
 選り分けし藁さらに選り注連を縋ふ  
 声の出ぬ風邪に途惑ふ電話ベル  
 トンネルを出て輝ける密柑山  
 細雪つきて弛めり蜘蛛の糸

稲屋 礼子  
 植田 絢子  
 氏本佐喜恵  
 岡本 伸子  
 久保田 季  
 久保田 豊  
 佐々木宗夫  
 芝 みさえ  
 末広みや子  
 清家 利男  
 中尾はるみ  
 平山 妙  
 藤川 清子  
 前田三恵子  
 久保田由布

## 愛児園行の子川柳会

給食でみかん食べたおいしいよ  
 みかん狩りみかん頭にころりんと  
 みかん食べ元氣百倍愛媛の子  
 雪だるまみかんをつけてでき上がり  
 みかんから漂う里の懐かしさ  
 伝えたいはがきに書いて切手はり  
 古切手一枚だけど役に立つ  
 手紙出す切手貼るの忘れてた  
 援助にと切手集めに協力す  
 年代の切手集めて自慢する  
 ほほを寄せおしくらまんじゅうみたいだね  
 思い出の写真手にしてほほ寄せる  
 念力でいろんなものを寄せている  
 安売りで人がお店に押し寄せる  
 打ち寄せる波に砂たち逃げていく

高1 清原 賢斗  
 小3 洪谷 尚紀  
 中1 田口 直人  
 中2 加形美由記  
 高1 松岡奈緒美  
 小4 山本 羽衣  
 中2 平 芳香  
 中3 岩佐 聖仁  
 高2 平 由香  
 高3 橋本 万実  
 小2 清原 彩香  
 小4 植木 真弓  
 小5 田口 真嵐  
 中3 野田本義明  
 高1 平 知香



## 大きくなったら 日吉小学校

